

おきたま 社会教育情報

Vol. 156 令和5年9月号

第2回放課後子ども総合プラン指導者研修会

9月12日(火)に、第2回放課後子ども総合プラン指導者研修会をオンラインで開催いたしました。一般財団法人児童虐待防止機構オレンジCAPO理事長の島田妙子氏を講師に迎え、「児童虐待を防ぐためにわたしたちにできること」と題して講演いただきました。自身が幼少期に受けた壮絶な虐待の体験を交えながら、児童虐待の定義や事例、虐待としつけの違い等について具体的にお話しいただきました。児童虐待の定義を子どもに伝えるとともに、放課後児童クラブや放課後子ども教室が、家庭での様子を話せる安心・安全な場所にするのが大事であるという話が特に印象に残りました。参加者からは、「一人でも多くの子ども達が辛い思いをしないよう、子どもが自分から声をあげられるような環境を作っていきたいと思います。」や「子ども達が日頃から想いを吐き出しやすい環境、感情表現のしやすい場所づくりをしていく必要性を感じました。身近で関わる大人として、小さな変化にも気づき、何か変化があった場合にすぐ動ける職場環境や体制も整えておきたいです。」などの感想をいただきました。参加した方がそれぞれの立場で、子どもを虐待から守るために何ができるかを考えるよい機会となりました。

この度の研修会が今年度最後の研修会となりました。次年度も参加される方々のニーズを捉えた研修会を企画して参ります。多数のご参加をお待ちしております。



置賜地区社会教育振興大会・ブロック大会の御案内

10月24日(火)に、令和5年度社会教育振興大会(兼)置賜地区生涯学習振興大会が、南陽市のシェルターなんよう小ホールで開催されます。今年度のテーマは「防災」で、ウェザーハート災害福祉事務所の千川原公彦先生をお迎えして、研修会を実施いたします。近年、日本各地で地震や水害などの自然災害が多発しており、置賜地区でも、昨年度8月の豪雨災害は記憶に新しいところです。もしもの災害発生時、ただ助けを待つのではなく、自分たちで知恵を絞り、力を合わせて災害に立ち向かっていく事ができるように、「自治防災」について皆さんで考えてみませんか。

「避難訓練」は様々なところで実施されていますが、その後に日常を取り戻すまでの「避難所訓練」を実施している自治体はとても少ないのが現状です。今回の研修会では、自分たちの手で避難所運営をシュミレーションし、みんなが助け合って苦難を乗り越えるためにはどんな心構えや準備が必要かを学ぶ良い機会にできればと考えています。

参加にはまだ空きがございますので、申し込みを希望される方は、置賜教育事務所社会教育課までお問い合わせください。

令和5年10月24日(火) 13:30~16:15
(受付開始 13:00~)

会場：シェルターなんよう 小ホール

内容：○表彰式典(令和5年度置賜地区優良社会教育機関及び関係団体・職員表彰)
○研修会 14:20~(前半講演、後半ワークショップ)

研修テーマ

「人と地域で作る防災ネットワークと災害時の助け合い」

講師

ウェザーハート災害福祉事務所 代表
千川原 公彦 氏

2000年北海道有珠山噴火災害を契機に、国内の災害支援に関わる。「地域防災・地域福祉の取組みには官民の協働が不可欠である」ことをテーマにし、現在はウェザーハート災害福祉事務所の代表として、被災地における避難所や災害ボランティアセンターの運営支援、平時には防災マップの作製や訓練活動の支援などを行っている。



第31回山形県スポーツ・レクリエーション祭ふれあい交流会

9月16日(土)小国町多目的屋内運動場あいべを会場に、ふれあい交流会が行われました。総合型クラブ「スポーツかわにし」の森和也氏、「ゆめスポしらたか『RO*KU』」の廣瀬将丈氏、「おぐにスポーツクラブ Yui」の舟山國雄氏を講師に、モルックのルール講習・交流戦を行いました。当日は総合型クラブ関係者を中心に30名程が集まり、参加者は一投ごとに一喜一憂し、交流会は大きな盛り上がりを見せました。

モルックとは、モルック(円柱状の棒)を投げて、1から12までの番号が振られたスキttlを倒し、得点を競うゲームです。複数本倒した場合は倒した本数が得点になり、1本だけ倒した場合は倒したスキttlの番号が得点になります。先にちょうど50点になったチームが勝利となりますが、50点を超えてしまうと25点まで戻されてしまいます。より数字の大きいスキttlを1本だけ倒すことを狙いたくなりますが、3回連続でスキttlを1本も倒せないとその場でチームは失格、負けとなるルールがあるので、気を付けなければなりません。やればやるほど奥深さを感じる競技で、老若男女誰でも楽しめます。地区の行事、子ども会行事、体育の授業、PTA学年行事など、幅広く活用できるかと思しますので、ぜひ挑戦してみてください。



ゲームが進むとだんだんスキttlが広がり、難易度が上がってきます。

次世代の地域づくり中核人材育成事業 「おきぼら地域クリエイターcrossover」第1回企画会議

9月17日(日)に、次世代の地域づくり中核人材育成事業「おきぼら地域クリエイターcrossover」第1回企画会議を行いました。メンバーは、5つの高校から申し込みのあった7名の高校生と、地域活動に熱心に取り組まれている3名のファシリテーターの皆さんです。今年度は、ファシリテーターの佐藤さんが代表をされている川西町こども食堂「なかよしキッチン」で、高校生が考えた企画を実施することをゴールに事業を進めています。

企画会議では、2つのグループに分かれてアイデアを出し合った後、実施する企画を決め、企画書を作成しました。Aグループの企画はSDGsカードゲームとビンゴ大会、Bグループはなぞとき迷路です。

10月29日(日)に、川西町農村環境改善センターで実施します。今後もオンラインを中心に打ち合わせや準備を進めていきます。なお、「なかよしキッチン」に参加いただける方は、川西町在住の中学生以下のお子さんとその保護者となりますので、ご了承ください。

<ファシリテーター>

土屋 孝俊 氏(長井けん玉のふる里プロジェクト実行委員長)
佐藤千恵美 氏(川西町こども食堂「なかよしキッチン」代表)
金 東玉 氏(一般財団法人 文教の杜ながい)

<高校生参画者>

安部 蹴斗 さん(米沢商業高校3年)
加藤 大雅 さん(米沢商業高校3年)
高橋 麗奈 さん(米沢商業高校3年)
情野 雪音 さん(置賜農業高校3年)
高梨まどか さん(九里学園高校2年)
高橋 陽希 さん(南陽高校2年)
秋山 果穂 さん(米沢興譲館高校1年)



→ コードを読み取っていただくと、山形県のHP上で本紙のデジタル版とバックナンバーがご覧いただけます。

【お問合せ先：置賜教育事務所社会教育課 TEL 0238(88)8242】